

## 支度

今週は月曜日から期末考査であったため、動的な生徒たちの姿を取材することができず、記事のネタ探しに校舎内をうろうろすることが多くなりました。“話のネタ”会話の中で普通に使いますが、“ネタ”ってどういう意味？漢字は？と疑問をもつことはありませんか。あまりにもよく使う言葉ですから、特に引っ掛かることもなく流れていくのでしょうか。寿司ネタ、がせネタ、鉄板ネタ…私もよく使っています。この“ネタ”とは、“種”的こと。「倒語」（とうご）と呼ばれる“たね”を逆さ読みすることで出たきた言葉です。江戸時代にこの言葉遊びが流行したのですが、今でも、お寿司屋さん、芸能界においても倒語を使っているようです。「シーメーベーターくーいー」なんて言っていますか？正解は「メシ、食べ行く？」その業界では気軽に誘うための言葉になっているみたいです。

気軽に食べに行く、今、そんな状況が自然界と人間界の境界を超越して起きています。クマが人里や、都会の民家に押し入り、エサを物色しています。エサばかりか人間を傷つけることもあります。本来ならクマは、この時期4ヶ月飲まず食わずで眠り続ける冬眠（クマの冬眠は冬ごもりと言われ、爬虫類など変温動物の冬眠とは区別される）のためにエサを大量に摂取し冬支度を始めます。この秋は、エサとなるブナの木を中心とした“種”、即ちドングリが結実せず、クマを満足させられなかった。人里に近づけば、軒先に放置された果物や野菜があることを学んだわけです。冬に向けて支度を進めたくても…。もしもじたくにクマが出没したらとぞっとなります。

11月も中旬、3年生は卒業に向けての支度がはじまったようです。校庭で卒業アルバム用の全体写真を撮影しています。カメラマンが北校舎の非常階段に上り、撮影しています。お邪魔しないよう私は職員玄関前から撮影しました。期末考査を終え、つかの間といったところです。笑顔がこぼれる余裕。ありがたいことに「校長先生も」とお誘いを受けました。そうしたくとも、3年生の写真に写るのはと腰が引けました。撮影後に教室にもどり授業開始。卒業後の進路に向けて支度が始まりました。



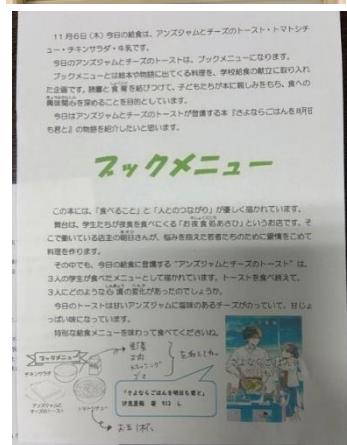
“きよせブックランド”に入館すると本棚に向かって司書さんが読書月間の支度をしています。「2年



の図書委員さんがおすすめしている本なんです。」そして「2年生と3年生の校内ビブリオバトルで生徒が紹介した本の中で、ブックランドになかった本を購入しました。」新規購入本を陳列していただきました。図書委員によって作成された職員室前の“ブックランド伝言板”に紹介されています。

ブックランドは食育ともつながります。

11月6日には、「さよならごはん明日も君と」に登場する3人の学生が食べた“あんずジャムとチーズのトースト”が給食になりました。心に傷を負ったお客様がたどり着く専門店「お夜食処朝日」その迷い込んだ人に合わせた特別な夜食を提供し、傷んだ心を包み込みます。トーストをネタに3人の心境がどのように変化したのでしょうか。物語が気になりますが、トーストも気になる。早速、口に入れると、チーズの塩味があんずのジャムを引き立てます。その柔らかな甘さに癒されている自分がいるのです。癒されているとは、ひょっとして私の心も傷んでいるのか。急いで「お夜食処朝日」向かわねば。



西武ハイヤーに電話して シータク を呼ぼう。